

議員定数と議会改革について(費用弁償)

No	議員名	回答内容	理由
1	野口 義光	距離に応じて	交通費と考えるならば、距離数に合わせて思っている。
2	野北 悟	距離に応じて	通常の委員会や本会議の出席分を交通費と考えるならば、職員のそれと同じに扱っても問題はないと考える。 私の場合は、この部分を自主研修費などに充てているので政務活動費が認められない場合は影響が出る。
3	中島 慶子	距離に応じて	何かの理由があって長期にわたっての2600円の支給だと思いますので、そのあたりがわかればと思います。 通勤費とすれば、やはり変え、距離に応じて支給が妥当だと思います。日当は現在のままでいいのでは。
4	服部 奈津美	距離に応じて	距離に応じて。交通費という判断であれば距離に応じていいのではないのでしょうか。
5	國信 好永	距離に応じて	報酬に含まれていると思うが、交通費となれば距離に応じて支給すべきかなと。
6	田中 英行	現行のまま	距離に応じて支給してもさほど金額的には変わらないので。
7	飯守 康洋	廃止	報酬に含まれている。
8	樺島 永二郎	現行のまま	費用弁償を交通費として考えると発言されましたが、言い方は分かりませんが、出席手当に近いと考えています。参加し活動をする方には、何かの形で与えるべきだと思います。
9	香月 正則	現行のまま	費用弁償については現状のままで支給する。費用弁償は旅費としての要素があり、交通費だけでは無く、その職務を果たすための費用と考えるべき。また、政務活動費が無いので、この費用を活用している。
10	中島 國孝	現行のまま	通勤費以外にも保険代も含まれると思う。
11	田渕 厚	距離に応じて	社会的には通勤手当になるから距離に応じてやるべき

議員定数と議会改革について(費用弁償)

No	議員名	回答内容	理由
12	角田 一彦	現行のまま	費用弁償については、通勤・交通手当と考えるのではなく、もろもろの費用と考えると、現行の手当でもいいのではないかな。
13	古賀 公彦	現行のまま	日当と言うことであれば、現行のままでよい。
14	平間 智治	距離に応じて	市職員に準じて通勤は「距離相当」、研修は現行のまま
15	牛島 和廣	現行のまま	長年の慣例であり、問題なし。
16	山本 茂雄	現行のまま	議員の資質向上のためには政務活動費は必要と思っている。政務活動費がつくならば費用弁償は廃止すべきだが、現時点ではその時期ではないと思っている。